

比べてみよう、心理学部の2学科

対人・社会心理学科

人と人の関係にアプローチします。



皆さんの誰もが、家族や友人、恋人、先生、所属する集団や社会の影響を受けて生きています。
2011年に開設された対人・社会心理学科は、人と人、人と社会の関係を心理学的に研究しながら、対人スキルを養う全国初の学科です。

身近な人から、組織、社会、文化現象まで、あらゆる人と人、あるいは人と社会の関係が研究の対象です。専門知識の習得だけでなく、コミュニケーション力や社会調査のスキルを磨く実習にも力を入れています。

ここに注目！



対人スキル

対人・社会心理学科では、実践的に「対人コミュニケーション能力」を磨く授業を用意しています。人と円滑に意思の疎通ができる能力は、新卒者を採用する多くの企業が特に重視しています。



社会調査

世の中の状況や消費者の心理などの情報を収集し分析する、調査スキルを学べる授業を用意しています。調査能力が必要な業種・職種で重視される、「社会調査士」の資格取得にも対応しています。

対人・社会心理学科では、心理学の知識だけでなく、コミュニケーション能力やデータを収集・分析する能力も存分に身につけられます。卒業後は、それらを生かし、幅広い分野での活躍が期待されます。

たとえばこんな進路が…

キャリアコンサルタント

他者の性格や能力を分析し、能力を十分に発揮できるようにアドバイスを行います。国家技能検定の基礎資格をとることもできます。

マーケター・商品開発

調査スキルを駆使して消費者の心理を分析し、商品開発などに活かします。

接客・営業職

相手の立場で考えることにより顧客のニーズを捉え、行き届いたサービスを実現します。

福祉

対人コミュニケーション能力を生かし、人々の暮らしに密着したサービスを提供します。

臨床心理学科

心を見つめ、支える力を身につけます。



悩みは誰もが抱えるものであり、時には一人で解決するのは難しいものです。臨床心理学は、心の悩みを理解し、心理的援助を行うための土台となる学問です。臨床心理学科では、心をもつめるための基本的な知識や、人を支えるための姿勢を身につけます。

カウンセリングや心理療法の理論・技法を中心に学習します。実習を重視したカリキュラムにより、人の心をより深く理解する力を身につけます。

ここに注目！



カウンセリング

悩みや問題を抱える人を支援する専門的な知識・技術を学びます。臨床心理学の知識をふまえて演習や実習に取り組み、実践につながる力を養います。



心理アセスメント

人の理解や援助に必要な情報を収集し、面接の方針をたてることを「心理アセスメント」といいます。学生自身が心理検査を体験し、アセスメントの力を養います。

社会のなかで生きるということは、人の心と関わるということです。臨床心理学科で身につける、人を理解する力やより良い関係を築く力は、人を支援する仕事はもちろん、企業やあらゆるフィールドで役立ちます。

たとえばこんな進路が…

カウンセラー

臨床心理学を中心とした知識・技術を生かし、専門職として援助を行います。

児童福祉施設の職員

子どもの発達への深い理解に基づき、子どもの支援や保護者との相談を行います。

接客・営業職

相手の立場で考えることにより顧客のニーズを捉え、行き届いたサービスを実現します。

民間企業の人事部

社員の心の状態や能力、適性をみながら、その企業がもつ力を十分に発揮できる環境づくりに努めます。

どんな学科？

何を学ぶ？

卒業後の進路は？



対人・社会心理学科を体験しよう！ (質問&解説編)

Q1

写真①と②。あなたが女性らしいと感じるのはどちらですか？



①



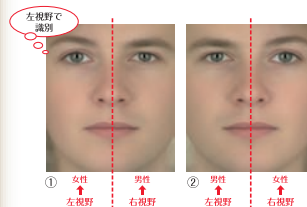
②

A1

①は左半分が女性で、右半分が男性になっている合成写真。②は①を反転させ、右半分に女性にしたものです。①も②も男女の要素は半分ずつなので、大勢の人に同じ質問をすれば、解答もほぼ半分になるように思えますが、実際の調査では、回答者の66%が「①の方が女性らしい」と解答しています。では、なぜこのような差が出るのでしょうか？その原因は、向かって右側と左側に見えるもので、情報を認識する仕組みが異なることにあります。私たちがものを見るときは、眼球と脳をつなぐ神経の構造上、向かって右側に見える情報(右視野)は脳の左半分へ、左側の情報(左視野)は脳の右半分へ先に送られます。また、情報が送られる脳は、得意とする機能が異なる複数の部位がそれぞれ

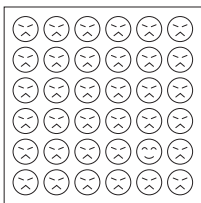
の機能を補完し合うかたちで成り立っています。

Q1の結果は、多くの人が左視野から取り入れた情報(つまり、映像処理が得意な右半球で処理される情報)に基づいて、他人の外見の印象を判断していることを示す証拠と考えられています。

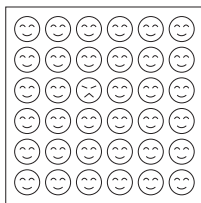


Q2

①の図から笑っている顔を、②右の図から怒っている顔を探してください。



①



②

A2

②の中から怒っている顔を見つけるほうが簡単ではなかったですか？他人の表情に気付くときのスピードが、表情によって異なる、という興味深い実験があります。

①一人だけが喜び、他は怒りの顔のセット、②一人だけが怒り、他は喜びの顔のセット、のそれぞれを見て、全員が同じ表情を表現しているかどうかを、素早く判断するというものです。

その結果、被験者は一人の怒っている顔に素早く注目できたのです。①の一人だけの喜び顔よりも、②の一人だけ怒り顔のほうにすぐ気付きました。

怒っている他人に対しては、身を守るため素早く対応しなければならないことが日常生活ではよくあります。したがって、怒った顔を素早く認識することは、進化的、適応的だと言えます。

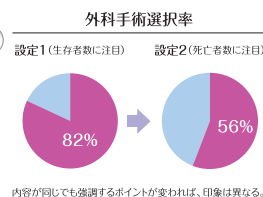
Q3

あなたは厚生労働大臣で、外科手術か薬物療法のいずれかを認可しなくてはなりません。次の設定1、設定2のケースでそれぞれ考えてみてください。

設定1		直後	5年後
生存者数	外科手術	90人	34人
	薬物療法	100人	22人
設定2		直後	5年後
死亡者数	外科手術	10人	66人
	薬物療法	0人	78人

A3

設定1、2の結果をよく見ると、表している内容がまったく同じであることが分かります。しかし実際に人々にこの質問し、集計をとったところ、設定1では82%の人が外科手術を選択したのに対し、設定2では外科手術の選択率が56%にまで下がってしまいます。



つまり私たちは、絶対的な事実だけではなく「生存者数」と「死亡者数」という言葉への印象を判断の基準に取り入れているのです。このように、強調するポイントによって印象が異なる現象を「フレーミング効果」といいます。



日常生活における対人・社会心理学

SCENE1「受験」における対人・社会心理学



心理学的
テーマ

自己評価・社会的比較

「自分を正確に知る」ことは受験面で大切なことです。正確に自己評価することで、より適切な形で志望校の選択が行えるからです。正確な自己評価のために、周囲の人と自分を比較する「社会的比較」は、有効な手段のひとつです。テストの点数が悪かったときなどに自分より低い点数の人をみつけて「あのよりましだった」と安心するために比較が用いられることもあります。また、同じ点数をとっても、喜んでいる人とがっかりしている人がいます。これは、現実の自分の姿だけが自己評価のもとになっているわけではなく、「どうなりたいか」「どうあるべきか」の姿が、人によって違っているためです。このように、対人・社会心理学では、私たちがどのようにして自分を理解しているのか、自分への評価がどのように他者からの影響を受けているかを研究テーマのひとつにしています。

[本テーマを学べる講義] ● 自己心理学 ● 感情・人格心理学 ● キャリア心理学 ● 社会的欲求の心理学

SCENE2「ゼミ」における対人・社会心理学



心理学的
テーマ

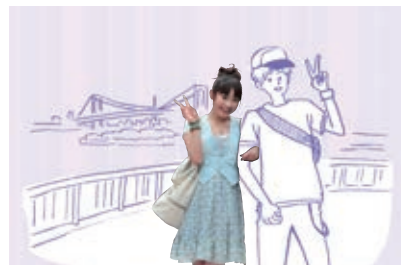
集団の影響・自覚状態

人は、自分ひとりである時と、集団の中にいる時とは違った行動をすることが多くあります。集団のルールや雰囲気は、その集団に所属するメンバーの行動に影響を与え、他のメンバーと同じような行動をするように導きます。対人・社会心理学では、私たちが集団から受ける様々な影響力が研究テーマになっています。

一方、人が見ているというだけで、自分への意識(自覚状態)が強まり、仕事がかどることがあります。この自覚状態は、鏡において自分の姿が見える状態にしても、他者がいるのと同じような影響を生じさせることも知られています。

[本テーマを学べる講義] ● 社会・集団・家族心理学 ● 犯罪社会心理学 ● 社会的貢献の心理学 ● プレゼンススキルトレーニング

SCENE3「恋愛と友情」における対人・社会心理学



心理学的
テーマ

魅力操作・恋愛の進展過程

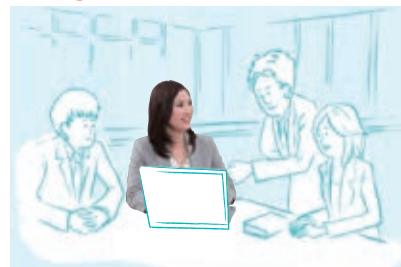
サークルの先輩で、最初から素敵だと思っていた人がいました(外見的魅力の効果)。でも、彼はサークルで後輩たちの面倒見も良く、気さくに話せるタイプだったので、サークルの女の子にも人気がありました。彼は特に私のことを気に留めているふうもなかったのですが、ある休日にしっかり化粧をしてオシャレをして出かけ、街中で彼にばったりと会った時、彼の私に対する態度がガラッと変わったのを見逃しませんでした(美的魅力と性的魅力の操作)。それ以来、サークルに行くときの視線が第一に私をのぞくようになったのです(視線の非言語的機能)。彼は私に特別に親切にサークル活動のことを教えてくれるようになり、いろいろな行動をともにしている内に、私も彼の彼の人柄に好意を持つようになりました。

男友達の中にも尊敬でき、信頼できる人もいますが、本当に魅力を感じたのは彼が初めて(内面的魅力の重要性)。彼とならふたりだけでいたいって本当に思っただけです。

今日は彼と付き合い始めて1年の記念日デートです！彼はまた、遅れてくるのかな？

[本テーマを学べる講義] ● 外見心理学 ● 恋愛心理学

SCENE4「職場」における対人・社会心理学



心理学的
テーマ

組織とリーダーシップ

グループや組織をその目標の達成に向けて引っ張っていくことをリーダーシップと言います。グループの中でリーダーシップを発揮することが期待されている中心人物がリーダーです。リーダーはただ仕事ができるというだけでは務まりません。グループが持っている資源や人材を活用して、いかにして効率よく高い目標を達成していくかを考え、それを実行していくことが必要です。その他にも、メンバーの気持ちに配慮しながらグループの団結力を高めたり、自分の後継者を育てていくこともリーダーの大切な仕事です。でも、誰もがすぐに優れたリーダーになれるわけではありません。そのためには、たくさんの経験が必要です。グループや組織の中で活動することでリーダーシップは次第に身についていきます。なぜなら、リーダーシップを発揮するのはリーダーだけではないからです。誰もがそれぞれの役割に応じたリーダーシップを発揮するよう期待されているのです。今日は職場のチームの会議があります。さあ、あなたのリーダーシップを発揮して下さい。

[本テーマを学べる講義] ● リーダーシップトレーニング ● 産業・組織心理学 ● リスクマネジメントの心理学



対人・社会心理学科のカリキュラム

4領域+2領域で構成される、幅広い学びを用意しています。

対人・社会心理学は、人と人、人と社会が互いに影響しあう中で、「こころ」がどのように働いているかを明らかにしようとする心理学の分野の一つです。研究テーマは多岐にわたりますが、自己、対人、集団、文化の4領域に大きく分けることができます。カリキュラムは、これら4領域に加え、心理学の基礎・応用領域、さらには、理論を実際のスキルに活かすためのスキル系領域の合計6領域から構成されています。

			1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目			心理学概論 心理学研究法 対人・社会心理学概論Ⅰ 対人・社会心理学概論Ⅱ 対人・社会心理学基礎演習 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ	心理学と職務スキル 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ	対人・社会心理学演習Ⅰ 対人・社会心理学演習Ⅱ	卒業論文・卒業研究Ⅰ 卒業論文・卒業研究Ⅱ
選択科目1	スキル系	学年進行に応じた科学的アプローチスキルの体系的履修	対人・社会心理学研究法 プレゼンスキルトレーニング	社会心理データ分析法 社会心理質的研究の方法 リーダーシップトレーニング	社会心理調査実習Ⅰ 社会心理調査実習Ⅱ 対人スキルトレーニング 心理学英語論文購読	心理的アセスメント
	自己	人間力を養う		発達社会心理学 自己心理学 ポジティブ心理学	キャリア心理学 臨床社会心理学 人的資源管理論	健康・医療心理学
	対人	対人力を養う		人間関係の心理学 対人行動とパーソナリティ 対人感情の心理学	コミュニケーション心理学 外見心理学 社会的欲求の心理学	対人・社会心理学特別講義Ⅰ 恋愛心理学 司法・犯罪心理学
	集団	社会人を養う		社会・集団・家族心理学 消費者心理学 リスクマネジメントの心理学	産業・組織心理学 マーケティング心理学 経営心理学	福祉心理学 対人・社会心理学特別講義Ⅱ
	文化	国際人を養う		社会的貢献の心理学 ステレオタイプの心理学 メディア心理学	進化心理学 交通心理学 社会言語学	ジェンダー心理学
選択科目2	基礎・応用	1・2年次で心理学全般の幅広い専門知識の履修	心理学史 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 教育・学校心理学 感情・人格心理学 発達心理学 認知科学 動機づけの心理学 幼児・児童心理学 青年期の心理学 適応の心理	神経・生理心理学 臨床心理学概論 心理学的支援法 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 障害者・障害児心理学		
	公認心理師	希望者限定			公認心理師の職責 関係行政論 心理演習	心理実習

※カリキュラムは変更される場合があります。
※一部の科目の履修には一定の要件があります。



対人・社会心理学科の学問領域・教員紹介

4領域+2領域の 幅広い学問領域

対人・社会心理学科は、社会で生活している人の心理や行動が、周囲からどのような影響を受け、またどのように影響を与えているのかを研究する学科です。

現実の社会の問題を解決するための専門的教育と実践的スキルトレーニングを行いながら、社会の幅広い分野で活躍できる、人間力・対人力・社会力を備えた人材を育成することが目標です。



教員紹介

専任教員は、学会をリードする社会心理学者、マスコミでよく知られている対人心理学者、国際的に活躍している若手心理学者ら、充実した教授陣で構成されています。(①=主な担当科目 ②=研究内容)



上瀬 由美子 教授
①ステレオタイプの心理学
②社会的ステレオタイプや
偏見の形成・維持・解消過程



川名 好裕 教授
①恋愛心理学
②進化心理学



高比良 美詠子 教授
①心理学研究法
②コミュニケーションと適応



所 正文 教授
①産業・組織心理学
②生き方・働き方支援・高齢
ドライバー支援



西田 公昭 教授
①司法・犯罪心理学
②マインド・コントロールの
心理学



古屋 健 教授
①リーダーシップトレーニング
②心理的ストレス課程とソー
シャルサポート



八木 善彦 教授
①消費者心理学
②消費者心理学・認知心理学



ウィンジャー・ジャンカー 准教授
①English Speaking
②社会言語学



高橋 尚也 准教授
①社会的貢献の心理学
②行政との協働、惨事スト
レス、地域のエンパワメント



笠置 遊 准教授
①コミュニケーション心理学
②対人関係・コミュニケー
ション



長澤 里絵 特任講師
①Practical English
②対人感情の心理学



高岡 祥子 特任講師
①心理学統計法
②人と動物のコミュニケー
ション、表情認知



小林 麻衣 助教
①心理学実験
②セルフコントロールの
心理学

